

2024	年度						
教科	学年	教科書	上下	教科書ページ	配当時数	配当月	
理科	6	大日本		188	7	2	~ 3

大単元(題材名)	11.かけがえのない地球環境		
中単元(曲名)			
主領域/領域/内容の区分	B 生命・地球		
関連する道徳の内容項目	D生命の尊さ/自然愛護/よりよく生きる喜び		

【到達目標】

知・技	○ 生物は、環境と関わり合って生きていることがわかる。
	○ 生物が互いに関わり合って生きていることと、ヒトも環境の一部であることがわかる。
	○ ヒトが環境に与えている影響についてわかる。
	○ ヒトが環境に与える影響を多面的に考え、どのように地球環境と関わっていけばよいのかを調べることができる。
	○ ヒトと環境との関わりについて、本やコンピュータなどから必要な情報を集めることができる。
思・判・表	○ ヒトと環境との関わりについて関心を持ち、進んで環境問題について調べ、自分にできることを多面的に考えることができる。
	○ ヒトがどのように地球環境と関わっていけばよいのかを多面的に考え、発表することができる。
主体的に学習に取り組む態度	○ 生物と環境について粘り強く追究する活動を通して、ヒトの生活が環境に与える影響について知り、これから私たちが環境とよりよく関わっていくためにはどのようにすればよいかを考えてまとめようとする。

※「主体的に学習に取り組む態度」は方向目標を示しています。

【評価規準】

		対応する学習指導要領の項目
知・技	○ 生物は、水や空気を通して環境と関わり合って生きていることを理解している。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 生物は、食べる・食べられるという関係でつながっていることを理解している。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 生物が互いに関わり合って生きていることと、ヒトも環境の一部であることを理解している。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ ヒトが環境に与えている影響について理解している。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ これまでに学習した内容や新たに集めた情報をもとにして、ヒトと環境とのつながりを多面的にまとめている。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ ヒトが環境に与える影響を多面的に考え、どのように地球環境と関わっていけばよいのかを調べている。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
	○ 本やコンピュータなどを活用して、環境問題などについての必要な情報を集めている。	B(3)ア(ア)(イ)(ウ)
思・判・表	○ 既習内容などをもとに、ヒトと環境との関わりについて多面的にとらえ、その関わりをわかりやすくまとめている。	B(3)イ
	○ 友だちの意見を聞いて、自分の予想の妥当性について考えている。	B(3)イ
	○ ヒトがどのように地球環境と関わっていけばよいのかを多面的に考え、わかりやすく発表している。	B(3)イ
主体的に学習に取り組む態度	○ ヒトと環境との関わりについて、根拠のある予想・仮説を立てて調べ、自分の考えをまとめている。	
	○ ヒトと環境との関わりについて予想したことを、友だちとの話し合いを通して見直している。	
	○ これから私たちがどのように地球環境と関わっていけばよいのかを考察し、自分の意見を人にわかりやすく伝えるくふうをしている。	
	○ 生物と環境の学習で、わかったこととまだわからないこと、できるようになったこととまだできないことが何かを、自分で考えている。	

【関連する既習内容】

学年	内容
3年	身の回りの生物
4年	季節と生物
4年	天気の様子(水の自然蒸発と結露)
5年	流れる水の働きと土地の変化
6年	電気の利用
6年	燃焼の仕組み
6年	人の体のつくりと働き
6年	植物の養分と水の通り道

【学習活動】

小単元名	時数	学習活動	見方・考え方
地球環境を守る	1	○写真の川の様子について気付いたことを話し合う。	共通性・多様性/関係付け/多面的に考える
	3	○地球環境を守るための取り組みをいろいろな方法で調べる。 ◆ 調べる ○かけがえない地球環境を守るため、私たちはどのような行動をすればよいのか、結果を基に話し合う。 ★ 考察	共通性・多様性/関係付け/多面的に考える
	3	○これまでの自分たちの生活を振り返って、これからどのような行動をしていけばよいのか考え、発表する。	共通性・多様性/関係付け/多面的に考える